

## 刑法特講Ⅱ

科目ナンバリング CRL-308  
選択 2単位

### 1. 授業の概要(ねらい)

企業活動の現場において問題になりやすい犯罪現象について、刑事法上の論点を明らかにし、代表的な判例を学習することによって、企業活動におけるコンプライアンス(法令遵守)の実現に対する関心と理解を深めることを目的とする。企業活動の最前線における刑事処罰の姿を見ることによって、具体的・実践的な刑事法の解釈と適用を学ぶことができる。

### 2. 授業の到達目標

- ① 企業活動の現場における刑事処罰の実践を学習する応用的・発展的な授業科目である。
- ② 企業活動の最前線における刑事処罰の姿を見ることによって、具体的・実践的な刑事法の解釈と適用を学ぶことができ、企業活動におけるコンプライアンス(法令遵守)の重要性を理解することができる。

### 3. 成績評価の方法および基準

期末試験(持込み不可)を70%,平常点(授業への参加状況)を30%として総合評価する予定である。

### 4. 教科書・参考文献

参考文献

佐久間修 『刑法から見た企業法務』 中央経済社(2017年)

木目田裕・佐伯仁志 編 『ジュリスト増刊 実務に効く 企業犯罪とコンプライアンス 判例精選』 有斐閣(2016年)

### 5. 準備学修の内容

授業は授業計画(シラバス)に従って進められるので、授業前には参考文献の該当箇所を概観しておくことが期待される。そして、授業後は授業内容を復習することによって、各回の授業テーマについての理解を深めること(暗記でなく、考え方を理解すること)が期待される。

### 6. その他履修上の注意事項

授業に積極的に出席し主体的に学習することによって、企業活動の現場における刑事処罰に関心を持っていただきたい。

### 7. 授業内容

- 【第1回】 授業ガイダンス,企業犯罪について,法人処罰
- 【第2回】 第三者委員会による不正調査
- 【第3回】 横領罪と背任罪
- 【第4回】 特別背任罪(1)(特別背任罪はどのような犯罪か)
- 【第5回】 特別背任罪(2)(特別背任罪の要件,取引相手と特別背任罪の共犯)
- 【第6回】 政治家や公務員との関係(贈収賄罪)
- 【第7回】 反社会的勢力への対応
- 【第8回】 不正な会計処理
- 【第9回】 インサイダー取引(1)(インサイダー取引とは何か,インサイダー取引の基本的な要件)
- 【第10回】 インサイダー取引(2)(インサイダー取引の要件をめぐる諸問題)
- 【第11回】 営業秘密の侵害
- 【第12回】 製品や食品の安全
- 【第13回】 企業犯罪に対する刑事手続
- 【第14回】 企業不祥事に対する実務的な対応
- 【第15回】 まとめと試験